

研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は公募申請課題名)	体外診断用医薬品の開発 (同上)
研究期間	平成 29 年 4 月 ~ 平成 30 年 3 月
研究機関名	アボットジャパン株式会社 総合研究所
研究責任者職氏名	プロジェクトマネージャー 佐々木 典子

※献血者に対しても理解しやすく、平易な文言を使用した課題名を記入してください。

研究の説明

1 研究の目的・意義

B 型肝炎は日本で約 120 万人の感染者が報告されており、輸血などの血液を通じて感染し、感染者の一部は慢性肝炎、肝硬変、肝細胞癌に進行する重篤な疾患です。献血された血液は検査により B 型肝炎に感染した血液を除いておりますが、B 型肝炎感染直後はウイルス量が極めて少ないため、検出が容易ではありません。このため、より高い検出感度を有する体外診断用医薬品の開発が求められています。

本研究では、血液中の B 型肝炎ウイルスをより高感度で検出する全自动免疫測定装置に載せる体外診断用医薬品を開発します。

2 方法《献血血液の使用方法含む》

本研究には、献血された血液のうち、感染症検査後の残余血液を使用させていただきます。

これらの血液検体を用いて、開発しました B 型肝炎ウイルス検出試薬が、献血血液の検査に求められる十分な性能（感度・特異性）を有しているか評価します。

3 予測される研究の成果等

血液中の B 型肝炎ウイルスをより高感度、高い特異性で検出することにより、より安全より安心な献血血液の提供が可能になります。

受付番号

29J0020

本研究に関する問い合わせ先

所属	アボットジャパン株式会社 総合研究所 研究プロジェクト室
担当者	佐々木 典子
電話	047-386-4872
Mail	noriko.sasaki@abbott.com

本書は日本赤十字社ホームページで公開され、必要に応じ献血者への説明資料として使用されます。